

# ミステリ読書案内

2024. 2. 4 発行元

第549号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

## 松岡圭祐「ベスト表」(再掲)

現在も話題作継続中の松岡圭祐の『ベスト表』を再度取り上げる。最近のベストセラーである『高校事変』シリーズ等はミステリの分類ではないと思っているので、ミステリ系統の作品に絞って考えてみた。

### 「ベスト表」は少しだけ改訂

今まで『代表作』という形では取り上げてこなかった。よって、今回

は代表作三作を無理やり紹介することにしたので、スペースがぎゅうぎゅう詰めになってしまった。どれも手に入りやすい本ばかり。

### 「催眠」

私の手元にある本は1997年の小学館版。一応本書がデビュー作のようにになっている。臨床心理士の嵯峨敏也が活躍するシリーズの開幕。サイコ・サスペンスの内容である。読者を惹きつける文章力はこのデビュー作からも十分に窺うことができる。

冒頭に出てくるのイカサマ催眠術師の実相寺則之。たまたまテレビにも出演したりしていたが、彼の占いの店に入絵由香と名乗る女がやってきて、催眠の真似事をしてみると突然笑いはじめ、宇宙人アンドリアになってしゃべり始めた。その後いろいろと試してみると予知能力を発揮して、いろんな出来事を予測したりして…。そこへ登場してくるのが(東京カウンセリング心理センター)の催眠療法科長の嵯峨。女の持つ能力の秘密を解き明かすために活動を開始する。

### 「万能鑑定士Qの事件簿Ⅰ」

2010年角川文庫書下ろし。私が最初に松岡圭祐作品を読み始めたのは本書から。実際に読んだのはシリーズがベストセラーになって少し時間が経って、書店に5、6冊が平台に並ぶようになってから。でも、松岡作品の中ではミステリらしさが前面に打ち出されていると感じられる。

最初に出てくる話が「力士シール」のこと。純和風の相撲力士のような顔が描かれたシールが都内のいろんな場所に大量に貼り付けられる。ガードレール、電柱、公衆電話、商店街のシャッター。誰が何の目的でやっているのか皆目わからない。それを取材し始めるのが「週刊角川」の記者の小笠原悠斗。そしてその過程で出会うのが「万能鑑定士」を名乗る凛田莉子。彼女の観察眼の鋭さと知識の煌めきが伝わってくる。

### 「千里眼 完全版」

私が読んだのは2007年の角川文庫版。本書の元は1999年に小学館から出た本であり、旧版の全面改稿版になっている。私は『万能鑑定士』シリーズをある程度読み進めてからこの『千里眼』シリーズに移ったので、読んだのは全て角川の「完全版」ということになる。岬美由紀の超人的活躍の物語。

美由紀の設定は元航空自衛隊の戦闘機パイロットであり、現在は臨床心理士としての仕事についているというもの。抜群の身体能力と判断力、そして先を見通す分析力で幾多の窮地を切り抜けていく事になる。この第一作は「東京湾観音」から始まり、恒星天球教という新興カルト教団がテロ活動が世の中を混乱に陥れていく流れに入っていく。

### 《松岡圭祐作品のベスト表》

1. 催眠
2. 万能鑑定士Qの事件簿IX
3. カウンセラー 完全版
4. 万能鑑定士Qの事件簿X
5. 千里眼 完全版
6. 万能鑑定士Qの事件簿XI
7. 探偵の探偵II
8. 万能鑑定士Qの探偵譚
9. 探偵の探偵
10. 後催眠
11. 万能鑑定士Qの事件簿XII
12. 千里眼 運命の暗示 完全版
13. 万能鑑定士Qの推理劇III
14. 万能鑑定士Qの推理劇IV
15. 万能鑑定士Qの謎解き
16. 特等添乗員αの難事件I
17. 千里眼 ミドリ猿 完全版
18. 万能鑑定士Qの最終巻
19. 探偵の探偵III
20. シャーロック・ホームズ対伊藤博文
21. ヘーメラールの千里眼 完全版
22. 万能鑑定士Qの事件簿VII
23. 千里眼の復讐
24. 千里眼 トランス・オブ・ウォー
25. 水鏡推理II
26. 千里眼 ブラッド・タイプ
27. 新人作家杉浦李奈の推論
28. 千里眼とニューアージュ 完全版
29. 万能鑑定士Qの推理劇II
30. 特等添乗員αの難事件II
31. 千里眼マジシャンの少女 完全版
32. 千里眼背徳のシンデレラ 完全版
33. 新人作家杉浦李奈の推論V
34. マジシャン 完全版
35. 万能鑑定士Qの推理劇I
36. 万能鑑定士Qの事件簿VIII
37. 特等添乗員αの難事件III
38. 新人作家杉浦李奈の推論III
39. 蒼い瞳とニューアージュ
40. 千里眼の瞳 完全版
41. 探偵の探偵IV
42. アルセーヌ・ルパン対明智小五郎
43. 水鏡推理
44. 探偵の鑑定II
45. 特等添乗員αの難事件VI
46. 水鏡推理III